



7 月 例 会 ご 案 内

探訪平群 平群野を歩く ⑫



あすのす平群／平群史蹟を守る会 共同企画
〔案内〕平群町観光ボランティアガイドの会

日 時 : 平成30年7月8日 (第2日曜日)

平成9年8月3日に開催された第18回平群史蹟を守る会夏季公開講演会は、当時法隆寺管長をされていた高田良信先生をお招きして「法隆寺 世界文化遺産への道」と題して講演をいただきました。その際高田先生は「夏安居（げあんご）と道詮律師」についてお話しされ、平群史蹟を守る会に、「道詮律師が夏安居のため通われた道を調査し、『道詮道』としてその名前を将来に伝えていただきたい」との宿題を出されました。早速、当時当会顧問でおられた塚信一先生が調査をされ、平成10年6月14日「道詮道」を歩く例会（平群野を歩く～その④～）がおこなわれました。

今回は20年振りに再びその「道詮道」を巡ります。今年度も、あすのす平群（観光文化交流館／町立図書館）と平群史蹟を守る会の共同企画で実施し、平群町観光ボランティアガイドの会の皆さんによる案内説明があります。

◇コース : 一部坂道を歩きます (行程約8 Km)

中央公民館・・・普門院跡・・・富貴寺跡・道詮律師墓（白山神社）・・・森垣外・・・
栗坪垣外・・・若井井戸・・・黒元橋・・・椿井橋・・・念仏橋（昼食）・・・鹿塚古墳・・・
滝谷神社（神代古墳）・・・龍田神社・・・甲塚古墳・・・藤ノ木古墳・・・春日古墳
・・・法隆寺・三経院（解散）

(.....トイレ所在地)

- ◇集合場所／時間：平群中央公民館 9:00
- ◇解散場所／時間：法隆寺 午後3時30分頃を予定
- ◇雨天決行／但し、当日午前6:55のNHK天気予報で奈良県北部の降水確率が50%以上であれば中止（注意：通常の例会と実施の可否の判断基準が異なります。）
不明の時は教育委員会 葛本（TEL0745-45-2101）まで
- ◇服装他：弁当、水筒、雨具など持参。歩きやすい靴・服装で

新入会員紹介(H30年6月から入会)

山本 ^{ひろし} 寛 緑ヶ丘（1）

6月例会報告～町内主要古墳整備～ 事務局

6月10日(日)、今にも降り出しそうな梅雨空の朝を迎え空模様が心配されましたが、曇り空で格好の作業日和となりました。

参加者は、24名と普段より少なめでしたが、烏土塚(現地集合)、ツボリ山、三里、西宮の各古墳に分かれ、草刈り・収集作業に汗を流しました。

今回は宮山塚古墳を中止して、西宮古墳の著しい崩れが見られる羨道前見学路斜面の修復にあたることとなり、写真のように新しい砂袋に交換・補強作業をしました。

又、ツボリ山古墳は、墳丘の作業はすべりやすく危険な為教育委員会の方に委ね、古墳の羨道付近とそれに至る通路の草刈り・清掃にあたりました。

幸い天気も味方にし、快適な草刈り日になりました。参加頂いた皆さんお疲れ様でした。(河本)



修復された西宮古墳の見学路



ツボリ山古墳の作業風景

平成 30 年 5 月 29 日(火)、福貴畑 杵築神社において第 1 回目の「平群の伝統文化・行事収集活動を実施しました。当日午前 10 時平群史蹟を守る会及び平群町観光ボランティアガイドの会のメンバー 15 名が杵築神社に集合し、約 2 時間にわたって福貴畑在住の下中一郎様から福貴畑に纏わる幅広いお話を聞かせていただきました。その中で興味ある話を 2～3 紹介します。

1. 深沙大将について……深沙大将は当時劣化が激しく喪失の危機にありましたが、昭和 51 年平群史蹟を守る会が地元福貴畑の皆さんや平群町教育委員会に働きかけ、800 名を超える平群町民の寄付の協力を得て修復したものです。この深沙大将は江戸時代にも修復された記録が尊像の胎内の墨書で判っていますが、その頃から近年までこの尊像は「龍神の神様」として信仰されていたようです。下中様も「薄暗いお堂の中に怖い尊像があり、子供の頃はとても怖かった」と話しておられました。

また、深沙大将が戦国時代の戦乱や廃仏毀釈の困難な状況を乗り越え、何故福貴畑の地で残ったのかという疑問がありますが、下中様は「十三峠の南に白石千坊という寺院群があったといわれており、この尊像もそこにあったのではないかという話を聞いたことがある」と話しておられました。この点について昭和 51 年頃に深沙大将の修復に尽力された塚信一先生は、自身の推考の一つとして、南北朝時代の信貴山は南朝側の拠点であり、信貴山の北に位置する白石千坊はその出城としての機能をもち、そこに北の守り神として深沙大将を造像したのではないかと推察されています。白石千坊は、大阪夏の陣や松永久秀の時代でも戦火に遭っており、誰かの手によって尊像を杵築神社の観音堂(当時西庄・薬師院の分院)へ移し今に残ったのではないかと推察されています。

(残念ながら現観音堂には、本尊の聖観音坐像、その左に深沙大将、右に不動明王が安置されていましたが、平成 29 年 8 月不動明王が盗難に遭い未だ行方不明だと下中様から報告がありました。)

2. 福貴畑の砂糖入り味噌汁について……この料理は杵築神社で年 2 回(1 月・10 月)に行われる宮座に出される料理の 1 つで、味噌汁に砂糖を沢山入れ甘さを競う習わしがあり、これは今も続いているそうです。「今年の味噌汁はあまり甘くない」と言われると、次回は一段と甘い味噌汁がふるまわれるそうです。高価な砂糖でおもてなしを競っていたようです。下中様も「福貴畑は十三街道に通じる通り道にあり、他の集落に比べ比較的裕福な集落であったようだ」と話をされました。

このようなゆとりのある集落であったからこそ、深沙大将が今なお福貴畑の地に安置されているのではないのでしょうか。



杵築神社の深沙大将

3. 龍王祭……これは干ばつの際の雨乞いの行事です。杵築神社に願をかけ、境内で松明に火をつけ山道を登り、十三塚を廻り杵築神社の北西 500mにあるジョウサン池に火のついた松明を投げ込み慈雨を乞うというものです。下中様の話では「火のついた松明をジョウサン池に投げ込むことによって、池に棲む龍神を怒らせて雨を降らす雨乞い行事だが、戦後 1 回実施したのが最後」とのことでした。古くはジョウサン池の南東畔に竜神を祀る祠があり(現存しています)、毎年 7 月に龍田大社より采女を招いて湯立行事が行われたそうです。

この話を伺うと杵築神社の深沙大将が、江戸時代以降近年まで竜神の神様として信仰されていたことがうかがえるのではないのでしょうか。 (以上 文責 文化部:清水)

(この活動は、「平群町観光ボランティアガイドの会」の皆さんと一緒に取り組んでいくことにしていますが、今後その活動成果を何らかの方法で記録に残したいと考えています。)

～～お願い～～

**6 月 30 日(土曜日)AM9～12 時の予定
で夏季公開講演会の資料印刷・製本作業
を行います。**

会員皆様のご協力をお願いします。

場所：中央公民館談話室

平群史蹟を守る会